「令和2年度台湾輸出向け商品開発支援事業」

台湾輸出向け商品開発ワークショップ参加者募集

財団法人台湾デザイン研究院と連携し、台湾市場向け商品デザインを共同で開発することを

目的として、商品開発ワークショップを開催します。

1. 目標：

　台湾デザイン研究院のシニアマネージャーが、既存商品を台湾向け商品にするために個別アドバイスを行います。参加事業者は、アドバイスを受けながら台湾の視点やニーズを考慮した商品開発を目指します

* 現在、日本国内で販売している商品を台湾向けにデザインします。
* デザインは、内容物の変更ではなく、情報や配色を検討し台湾向けラベルやパッケージ等を試作します。
* 試作は、パッケージやチラシ、展示ディスプレイなどを予定しています。（翻訳、POP、展示ディスプレイなど）※当所の機器を活用します。

2. 商品開発ワークショップ（予定）：（条件：3回参加できる企業）

①「台湾の工芸・加工食品のデザイン」（8月6日）講師:（財）台湾デザイン研究院

　　V-Cupシート説明：配布し自社で記入。後日提出（弘工研）

　　フォーローアップ（8～9月）：商品デザイン試作支援～試作完成

②商品評価会及び「台湾展示会向けセミナー」（10月）

講師:（財）台湾デザイン研究院

　フォーローアップ（11月）：展示用ツールの試作（バナー・チラシ・POPなど）

③台湾展示会向け仮展示検討会（12月）講師：デザイナー（台湾在住）

　フォーローアップ（1月）：展示用ツールの試作（最終調整）

1. 会場： (地独)青森県産業技術センター　弘前工業研究所（弘前市扇町1-1-8）
2. 対象：

現在、日本国内で販売している商品を台湾への輸出を検討している県内製造業者。（工芸、加工食品）

1. 募集件数：2社程度
2. テスト販売：2月予定

不二堂（台北市大安區麗水街13巷8號）　<http://www.ateliea-tea.com/>（予定）

1. 費用：

ワークショップにかかる費用は無料。別途、試作等にかかる経費は参加者負担。

1. 申込方法： 別紙の申込書を参照。
2. 申込期限： 令和2年8月7日（金）17時必着
3. 選考：

　申込受理後、申込書内容に基づいて審査選考させていただきます。選考結果は8月11日までに文書にて通知します。

1. お申込み・お問い合わせ先

地方独立行政法人青森県産業技術センター 弘前工業研究所　デザイン推進室　工藤

住所： 036-8104　弘前市扇町1-1-8

E-mail： [kou\_hirosaki@aomori-itc.or.jp](mailto:kou_hirosaki@aomori-itc.or.jp)

電話番号： 0172-55-6740　　FAX： 0172-55-6745

E-mail： [kou\_hirosaki@aomori-itc.or.jp](mailto:kou_hirosaki@aomori-itc.or.jp)

地方独立行政法人青森県産業技術センター弘前工業研究所　工藤　行

　財団法人台湾デザイン研究院は、台北市信義区に位置する中華民国（台湾）の国家級デザイン研究院。1979年に設立された中華民国対外貿易協会デザインプロモーションセンターが前身であり、2004年に組織独立して財団法人台湾デザインセンターとなり、2020年2月に、財団法人台湾デザイン研究院に名称変更。また、台湾デザインアワード「ゴールデンピンデザインアワード」を主催している団体です。<https://www.facebook.com/TDRI.Japan/>

**「台湾輸出向け商品開発ワークショップ」**参加申込書

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな |  |
| 会社名 |  |
| ふりがな |  |
| 代表者名 |  |
| 郵便番号と住所 |  |
| 電話番号 |  |
| ふりがな |  |
| 申込者氏名 |  |
| E－ｍａｉｌ |  |
| 主要事業内容 |  |
| 貴社のアピールポイント |  |
| ホームページ  アドレス |  |
| 貴社の主な商品名と内容について、記載してください |  |
| 主な取引先、  販売先 |  |
| 本事業参加申し込みの理由 |  |
| **台湾デザイン市場へチャレンジしたい既存商品について記載してください** | | |
| 商品名 |  | |
| 商品の概要  （写真添付） |  | |
| 商品コンセプト等 | 「どんな製品ですか」  「ターゲット」  「こだわり・思い」 | |
| その他、要望など |  | |